

GOOD NATURE STATION

GOOD NATURE STATION

No. 03-065-2020作成

新築
ホテル／物販／飲食

発注者	京阪ホールディングス株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO ₂ 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術／FB
設計・監理	株式会社大林組一級建築士事務所 OBAYASHI CORPORATION		E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携
施工	株式会社大林組		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他	

健康的で人と自然が寄り添う、新しいライフスタイルを体感するデザイン

“GOOD NATURE”を体感するホテル

ホテル全体のブランドコンセプトである“GOOD NATURE”を感じるように建築全体を一貫したコンセプトでデザインしている。外装は京都らしさと自然形態が重層する木賊模様をモチーフとした繊細なアルミキャストルーバーで覆うことで、日常の喧騒から切り離された空間を実現した。また低層部は自然素材の珪藻土や京都地産の杉板にて構成した。

内装にも自然や健康を感じられるデザインを展開。中庭全面を覆うグリーンカーテンウォールは健康的な光や空気を内部空間に導き、京都の繁華街の中心でありながら自然と人との密な関係をもたらした。

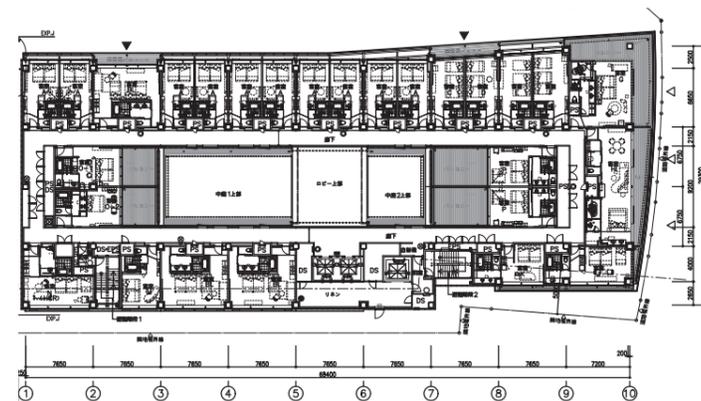
“GOOD NATURE”の考え方を空間に落とし込むことで、健康的で人と自然に寄り添う新しいライフスタイルを体感するデザインを実践した。



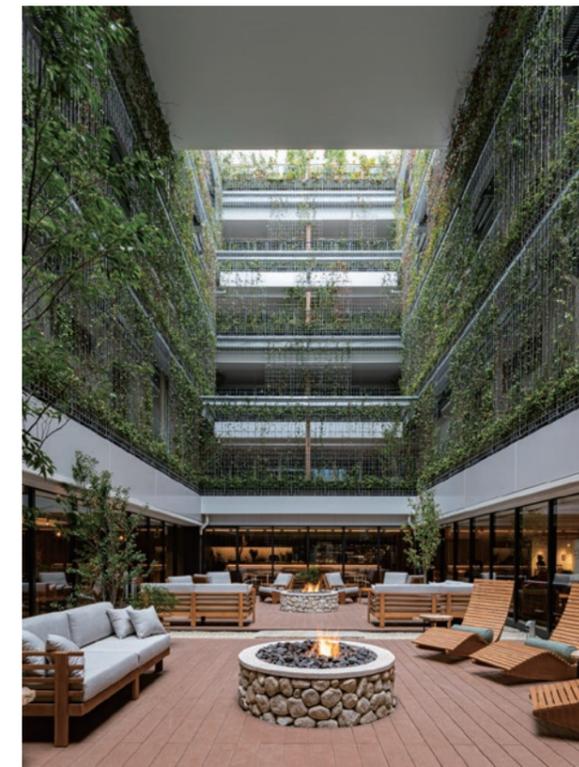
外観夕景

市街地の中で自然を感じる全面緑化された中庭

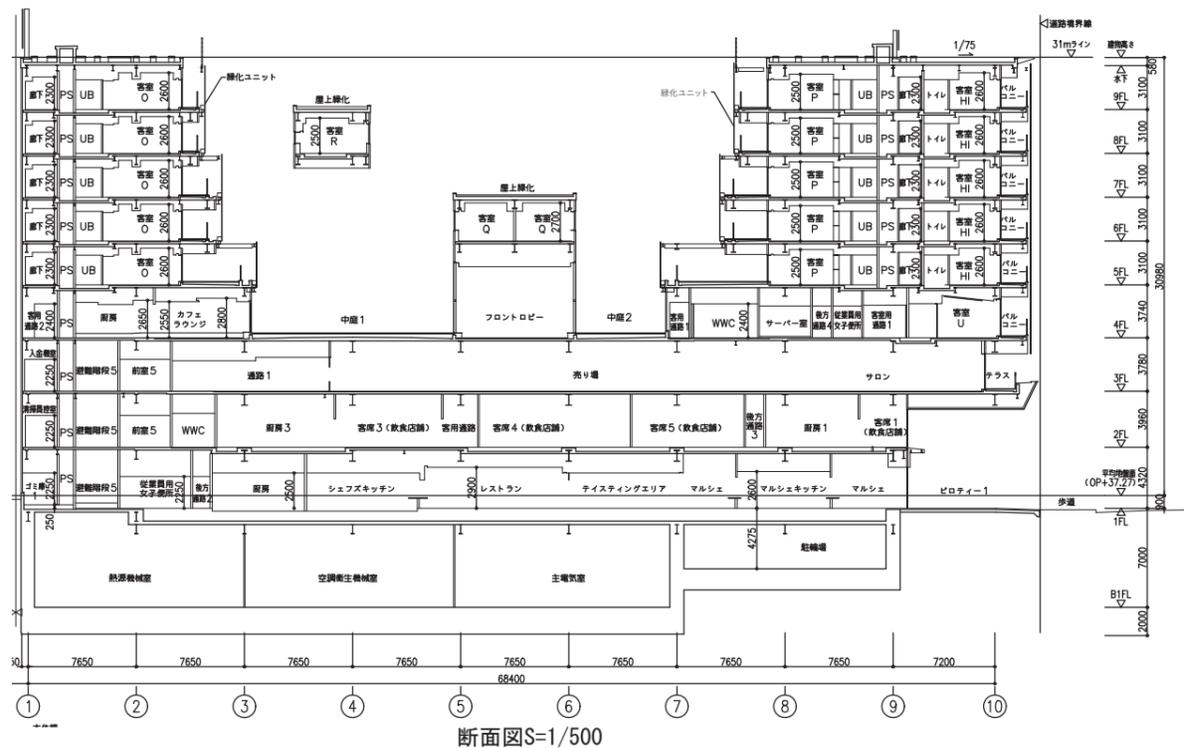
地上9階建ての4階以上は中庭を持つコの字型配置としており、その中庭には全面的に壁面緑化を施している。植種は京都にちなんだテイカカズラであり、繊細な葉で覆われたグリーンカーテンウォールを通して内外を緩やかに繋いだ。京都の密集市街地ながら宿泊客と自然との距離を近づけるとともに、鳥などを呼び込み生物多様性を図っている。



客室階平面図S=1/800



緑に包まれた中庭



断面図S=1/500

ホテルとして世界初のWELL認証

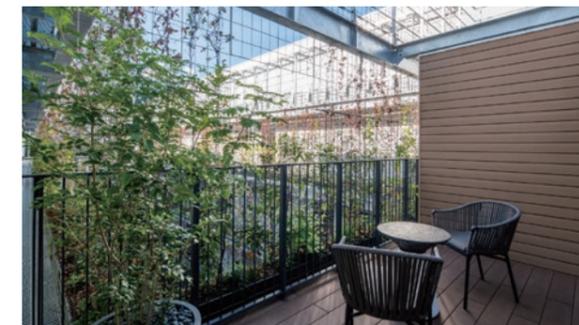
建築、設備、運営に至るまで一貫してウェルネスを謳っており、空気・水・光・素材による建物全体の健全性・健康性を担保している。客室には体内のリズムに合わせて起床を促すサーカディアン照明を設置し、中庭では緑に包まれた健康的な空間を創出した。これらにより、健康や快適性の基準となる指標として世界的な広がりを見せているWELL認証を、今回ホテルとして世界初となる認証取得した。



サーカディアン照明を設置した客室

環境配慮された建築物を示すLEED認証取得

井水利用などの水資源の効率的利用や、自然光や通風・眺望による室内環境の確保を行う事によって、環境配慮された優れた建築物を作るため先導的な取り組みを評価するグリーンビルディングの国際的な認証プログラム（環境性能評価認証システム）であるLEED（Leadership in Energy and Environmental Design）を取得。



通風・採光を導く中庭テラス

設計担当者

統括：井上雅祐／建築：松原知三、伊藤直幸、梶尾輝雅、箕浦浩樹／構造：福本義之、金山るみ子、荒瀬進、柴田淳平／設備：山本雅洋、佐々木寛、木村公則、丸尾彰秀、高山裕輔

主要な採用技術（CASBEE準拠）

- Q3. 1. 生物環境の保全と創出（中庭グリーンカーテンウォールによる緑化）
- LR1. 3. 設備システムの高効率化（LED等高効率設備の採用）
- LR2. 1. 水資源保護（井水利用）
- LR3. 1. 地球温暖化への配慮（中庭グリーンカーテンウォールによる緑化）

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価	
所在地	BPI (モデル建物法) 0.93	Aランク	
竣工年	BEI (モデル建物法) 0.68	BEE=1.5	
敷地面積	LCCO2削減 27%	2018年度版 第三者認証	
敷地面積	3,726㎡		
延床面積	16,744㎡		
構造	S造、SRC造		
階数	地下9階、地上1階		